



祝二十歳!

1月7日 比布町二十歳のつどい

二十歳を迎えた元いちごっ子が集い、友人や恩師との久しぶりの再会に笑顔があふれていました。

令和6年比布町二十歳のつどい



町民のみなさんと議会をつなぐ

ぴんぷん議会だより

発行 北海道比布町議会
編集 議会広報特別委員会

- 2 審議結果「第4回定例会」ほか
- 4 一般質問 / 佐藤 良彦 議員
- 5 一般質問 / 遠藤 ハル子 議員
- 6 一般質問 / 植西 浩一 議員
- 7 委員会の活動
- 9 常任委員会視察報告
- 12 議員研修報告
- 14 編集後記

12月13日

第4回定例会



令和5年度一般会計補正予算など議案8件を審議

12月13日に開かれた令和5年第4回定例会では町の課題等に対し、3議員が一般質問をしました。その後、議案8件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4〜6ページに掲載しています。

変更

◆議決事項の一部変更

比布町立比布中央学校校舎改修建築主体工事に伴い、後期課程職員室の防災盤撤去後の補修工事を追加したことにより契約金額が増額するものです。【原案可決】

連携

◆連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約

初期救急医療の連携により夜間や休日の救急患者の診療体制を確保・維持するため旭川市との間における連携協約を変更するものです。【原案可決】

条例

◆比布町簡易水道及び公共下水道事業の設置等に関する条例の制定

簡易水道事業及び公共下水道事業を官庁会計から公営企業会計に移行するため条例を制定するものです。【原案可決】

◆比布町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法等の改正に伴い、産前産後期間相当分の国民健康保険税の免除規定及び届出規定を新設するものです。【原案可決】

◆比布町空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例

空家等対策の推進に関する特別措置法の改正に伴い、適切な管理が行われていない空き家を管理不全空き家等と認定し、指導、勧告ができるよう規定を追加するものです。【原案可決】

補正予算

◆一般会計(第6号)

◆国民健康保険特別会計(事業勘定・第2号)

◆介護保険特別会計(第2号)
補正額と総額、主な内容は左ページ表のとおりです。【原案可決】

第5回臨時会

11月27日

◆議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院給与勧告に基づき、議会議員、特別職に支給する期末手当の割合を百分の十引き上げる条例改正です。
【原案可決】

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

人事院給与勧告に基づき、職員に支給する月額給与の一部改定及び勤勉手当の割合を百分の十引き上げる条例改正です。
【原案可決】

◆一般会計補正予算(第5号)
補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。
【原案可決】

第1回臨時会

1月29日

◆比布町手数料条例の一部を改正する条例

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴い、条例を改正するものです。
【原案可決】

◆一般会計補正予算(第7号)
補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。
【原案可決】

定例会の感想

議会を傍聴された方に、一般質問や審議などの感想やご意見をお聞かせいただきアンケートを実施しています。

お寄せいただいた感想を紹介いたします。

□一般質問の中で、気候変動や人口減少など今日の情勢の根本的な課題と町づくりの課題が関連されながら議論されていたことが印象深く、有意義な議論になったと思う。

上下水道事業の議案も上記の2点を踏まえた長いスパンに立った議論だったと思う。担当課長からの現状での困難と今後の予想される困難に対する見解は町民としてありがたいと思う。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

令和5年度各会計補正予算(第4回定例会)

一般会計(第6号)

7,208万2千円の増

(総額44億8,426万3千円)

■物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金支給事業の増ほか

国民健康保険特別会計(事業勘定・第2号)

予備費から35万2千円を下記の事業へ充当

■国保関係事務費の増

介護保険特別会計(第2号)

予備費から78万1千円を下記の事業へ充当

■介護関係事務費の増

令和5年度一般会計補正予算(第5回臨時会)

一般会計(第5号)

400万円の増(総額44億1,218万1千円)

■職員給与・手当の増

令和5年度一般会計補正予算(第1回臨時会)

一般会計(第7号)

2,049万3千円の増(総額45億475万6千円)

■住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金事業の増ほか

みなさんも 議会を傍聴しませんか

第1回議会定例会は3月上旬に開会します。詳しい日程は無線放送等でお知らせします。
ぜひお越しください。

議案などの資料も用意しています!





財政難を招く負のサイクルを どう打開していくか

村中町長

世帯構造の変化を適切に捉え 子育て支援などの施策を推進する



さとう よしひこ 議員
佐藤 良彦

□質問・佐藤議員

地方自治体の多くは、人口減少や少子高齢化などの課題を抱え、それらの課題を解決するために新たな視点で町づくりを推進しています。

比布町の2020年の高齢化率は41・5%（全国平均28・7%）であり、2023年1月には43%（同29・1%）と全国比を上まわりました。

新生児の減少も伴い生産年齢人口が減少し、税収の減少による町政の財政難の構図が大きな問題の一つになっていくと認識しています。生産年齢人口の減少は、消費の低迷を誘発し、さらに税収が減少していく「負のサイクル」に陥っていると考えます。

この「負のサイクル」の打開策を比布町として独創的な思考でどのように協議され、第13次まちづくり計画の中に盛り込み、実施しようと考えているのか伺います。

■答弁・村中町長

若年人口の減少により、高齢化率は今後も上昇傾向が続くと予想していますが、高齢者数のピークは過ぎていくこと、また、世帯数は昭和30年よりも100世帯ほど増加していることなど、世帯構造の変化を適切に捉えた対策が必要

であると思います。また、令和4年の人口移動報告では、本町では4年振りに転入超過となり、子育て世帯は11世帯43人に転入いただきました。本町ではこれまでも、子育て世代をターゲットにした移住・定住政策に重点を置き、高校生までの医療費実質無償化やこどもすこやか手当など、他自治体に先駆けて取り組んでおり、小規模保育園や義務教育学校の設置、また、今後予定されている認定こども園の開設など、「子育てしやすいまち」として、様々な子育て支援に取り組んできました。

現在策定している第13次比布町まちづくり計画では、町民の皆さまや各種団体、企業、行政の協働によって、本町の10年後の将来像を「住んで良かったと思えるまち」と掲げ、様々な施策を推進していきます。次世代を担う子どもたちを産み育てる施策としては、妊娠・出産期から子育て期までの一貫した支援や保育・教育環境の充実を目指し、移住・定住を進める取組みとしては、引き続き子育て世代の移住を促進するため、住環境の確保に努めます。現在は、流通している空き地・空き家が不足しており、民間賃貸住宅も空き室が少ない状況のため、空き地・空き家対策に力を注ぐとともに、新町団

地跡地を有効活用し、移住・定住に結びつけていきたいと考えています。

□佐藤議員 道内の厚沢部町にある認定こども園では、ご家族が短期間（1〜2週間）生活できる住まいなどの住環境を整えて保育園留学を実施しています。年間100組のご家族が関東圏から厚沢部町に来町し、自然豊かな環境の中で、子どもたちがのびのびと遊び、新しい出会いを楽しんでいる様子は大きな反響を呼び、数組の移住に結びついているようです。ぜひ比布町でも取り組んでいただきたいと思えます。

■村中町長 保育園留学については本場に素晴らしい良いきっかけを与える事業であり、本町としてもぜひ取り組んでみたい事業の一つだと思っています。

本町は町営の認定こども園ではありませんので、運営をされる法人の協力が必要であり、受け入れ体制なども十分に協議する必要があります。難しい事業だとは思いますが、現状を一步前に進めるために、今ある町有地や空き地・空き家も有効活用して、新しいまちづくり計画の中で住環境整備にも取り組みたいです。



異常気象による農産物の被害状況と今後の対応は

村中町長

関係機関と情報共有を図り ニーズに合わせた支援策を講じる



えんどう 藤はるこ 議員

□質問・遠藤議員

水田転作政策として飼料用米、麦、大豆等を生産する農業者に対して交付金を直接交付することに、水田のフル活用を推進する農業政策が、突然5年以内に水張りのない水田を交付対象から除外するのは急過ぎるとの声があります。

J A ぴっぷ町とどのような協議を行い、これらの諸課題にどう立ち向かっていこうとしているのか次の3点について町長に伺います。
① 猛暑・干ばつなどの異常気象による農産物の被害状況について
② 現場の声を聴いた対策を講じているのか
③ 水田活用直接支払交付金の厳格化に伴う町内の状況について

■答弁・村中町長

質問の①につきましては、水稲は全量1等米でしたが一部胴割れなどがあり、この間、農協、農業委員会、農業改良普及センター、土地改良区、共済組合及び町で構成する比布町営農指導対策幹事会において、その対策など情報共有を図ってきたところです。

②につきましては、これまでも青年農業者との意見交換の場を設けている他、農協が事務局を担っている生産者団体の会議などへ担当職員が出席し、情報交換するな

ど、ニーズに合わせた支援策を講じるよう努めており、比布町地域農業再生協議会においても協議しています。

③につきましては、今年度は5戸の農家で一部の水田において小麦収穫後などに水張り管理が行われませんでした。比布町地域農業再生協議会においては、農業者から個別に聞き取りし、水田維持の意向や畑作物への転換などの検討を進めているところと見られます。国の農業政策に大きく影響することが予想されますので、引き続き、関係機関と情報共有を図り、農地の有効利用と景観保全に支援を講じていきます。

□遠藤議員 町長は今年の農業の現状を様々なところから聞かれていますと思いますが、直接話を聞かれたことはありましたか。

■村中町長 私も様々な場面でお話をお伺いしました。異常気象などにより品質にも影響が表れたようですが、所得は全体的に大きく減少しなかったという印象です。遠藤議員からもお話のあった今年の異常気象が恒常的な気象になる可能性もありますので、高温の中で北海道の農業をやっているか、なければいけないという覚悟を決めることが大事だと思えます。

□遠藤議員 畑地化促進助成に手を挙げた農家が昨年は5件とのことですが、今年、来年と予定し、相談を受けている中での内容や問題点などについて、どのように話し合いをしながら交付金を受けるスタートを踏み出していますか。

■村中町長 畑地化促進助成について上川管内の要望だけで国の予算額を超えてしまうという国の畑地化に対する大幅な見込み違いもあり、なかなか畑地化には乗れない状況です。また、追加要望もありましたが、追加要望をしようとしてまい、比布町全体に影響してしまうというのを畑地化を受けた方々が心配され、手をおろしてしまつたという状況もございます。本町はお米がとれる土地柄、気候でありますので、水田農業を守る施策をこれからも実施していきたいと思えます。補正予算でもお認めをいただいた、あぜをつくるための支援なども実施し、水張りを守る取り組みを行っていきたいと思えます。そして、既に自力であぜを作った農家の方もいますが、できない方には町も支援をしながら、この水田地帯を景観も含めて守っていききたいと思えます。



新町団地解体後の 土地利用について考えは

村中町長

公募型プロポーザル方式により 宅地分譲事業を実施したい



うえにし こういち 議員
榎西 浩一

□質問・榎西議員

三年連続社会増となっている「住みたい町」であろう現在、新町団地解体後の利用をどのように考えているのか計画を教えてください。

■答弁・村中町長

民間事業者の持つ優れた技術やノウハウを生かし、子育て世代を中心に住んでいただけよう、広く多くの事業者から提案を募る公募型プロポーザル方式により移住定住対策として宅地分譲事業を実施したいと考えています。

□榎西議員 第13次まちづくり計画の中でプロ目線と生活目線の両方を聴く必要があると思いますが、広聴などの機会を設ける予定はありますか。

■村中町長 町民の方々からのご要望や普段のご意見を参考にさせていただきます。

民間事業者のプロポーザルの中には集合住宅の誘致や一軒家の賃貸など様々な提案があると思います。

さらに、店舗の誘致などプロポーザルで決定した事項に合わせて町が支援することもあると思いますので、様々なご提案があることを期待して協議をしていきます。

社会増を推進する新たな施策について

□榎西議員 子育て支援について旭川市との中枢都市連携を含め、どのように進めていくのか考えを伺います。

■村中町長 すべての事業やサービスを一自治体で対応することは難しく、旭川市を含む近隣市町との連携が必要不可欠です。

「緊急さぼねつと事業」の共同実施や「きたよん」並びに「こども通園センター」を共同設置し、さらなる体制の強化を図っています。

また、本町では「ぴっぷ未来会議」を開催し、妊婦サポート119事業など実際に会議で出された意見を参考に事業化も行っています。

今後も、現状の子育て支援施策の充実を図りながら、近隣市町や関係機関等との連携強化に努め、保健センターや子育て支援センター、教育委員会などが協同し、妊娠・出産から子育てまで切れ目なく一貫した支援を行います。

安心・安全をアピールする具体的な方策について

□榎西議員 国土交通白書2021年版に「歩行者・自転車優先の道づくりの推進」と書かれているように「歩行者に優しい町」と宣言するこ

とが、より良いアピールにつながるのではないかと考えます。

また、現場実学の観点から、各町内会単位での宣言とするのが望ましいと思いますが、町長の考えを伺います。

■村中町長 本町においては、町民の高い意識と関係機関のご協力により、令和5年8月24日に「交通事故死ゼロ」連続2,000日を達成することができました。

これからも町民の皆さまと共に「歩行者に優しいまちづくり」を進めるため、危険箇所の点検と対策、子どもたちが安全に活動できるエリア指定の検討を行うとともに、交通安全に対する意識の向上のため、学校教育・広報活動などを通じて正しい知識を提供し、警察などの関係機関と連携しながら交通安全に対する啓発や飲酒運転撲滅運動などの啓蒙活動を実施します。

※公募型プロポーザル方式

地方公共団体が事業者を選ぶ入札方式の一つで、入札情報を公表して、広く参加者を募集し、最も優れた提案内容の事業者が落札されます。

委員会のactivities

活動

総務常任委員会

11月27日開催

総務企画課

《協議事項》

■第5回議会臨時会提出議案

総務常任委員会

12月4日開催

税務住民課

《報告事項》

■令和5年度町税等の収納状況
(10月末)

■上川広域滞納整理機構の収納状況
■ペットボトルのリサイクル

■愛別町、上川町、当麻町、比布町、愛別町外3町塵芥処理組合と(株)JEPLANとの地域循環共生圏推進に関する包括連携協定書の説明を受ける。

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇令和5年度一般会計補正予算案

保健福祉課

《報告事項》

■高齢者等の除雪サービス事業利用状況
■高年齢者等の除雪サービス事業利用状況

除雪サービス事業の内容について説明を受ける。

■各種健診等受診状況

■各医療費の状況

■介護保険事業の利用状況等

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇比布町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

◇令和5年度一般会計・国民健康保険・介護保険特別会計補正予算案

◇連携中核都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約

《その他》

■くるみ保育園新園舎建設並びに中央ふれあい広場再整備事業に係る進捗状況

■旧うれしば保育園ぴっぷ(町有住宅)の跡利用

■障害児通所支援事業所の募集

■町立診療所入院病棟廃止に係る進捗状況並びに次期指定管理者選定に向けた公募

教育課

▽総務係

■令和4年度比布町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価

▽学校教育係

■義務教育学校「比布中央学校」行政視察

◇奈井江町(9月12日) 7名

◇中川町(9月20日) 16名

◇鷹栖町(10月20日) 10名

◇共和町(11月29日) 2名

■君の夢プロジェクト

◇剣道部(9月17日)

講師 末永真理氏・末永将太氏

対象 剣道少年団、後期課程剣道部員

◇吹奏楽部(10月15日)

講師 西條 貴人氏・鈴木 優氏

対象 後期課程吹奏楽部員

◇全体講演会(12月15日)

講師 星 功基氏

対象 後期課程生徒



君の夢プロジェクト「吹奏楽部編」

▽文化振興係

■児童生徒芸術鑑賞会

劇団影法師「妖怪影絵ゲゲの鬼太郎」(8月29日) 対象 前期課程

■町民芸術鑑賞会「トルヴェール・クワルテットミコ小柳美奈子」

■子ども自然体験教室「比布アドベンチャーズ」(9月24日)

参加者21名、川・山散策、魚さばき、料理等を体験

■町民文化祭(10月27〜29日)

(芸能発表) 16団体、103名

(作品展示数) 17団体・12個人 1,

263点

■図書館事業

◇としよかん古本市(9月9〜26日)

来場者数延115名

◇望遠鏡で秋の天体観測(9月29日)

参加者 子ども21名、大人13名

◇ぶつくんあみだくじ

■令和6年比布町二十歳のつどい(令和6年1月7日開催) 対象者39名

▽スポーツ振興係

■第56回全町ソフトボール大会(8月27日) A級6チーム、B級5チーム

■第1回ポッチャ大会及び公民館事業「ヨガ教室」(10月9日)

(ポッチャ大会) 12チーム、45名

(ヨガ教室) 34名

■ぶらりピップまちあるきIV

参加者11名

■第45回全町女性バレーボール大会

6チーム(東・西・南・新・寿・緑)

7

■所管施設工事等状況

百年記念公園トイレ棟・機械室
電気幹線設備修繕工事

スクールバスの新バスはエンジ
色。今までのバスは入札で売買。

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇令和5年度一般会計補正予算案

◇議決事項の一部変更

■郷土資料館改修実施設計

屋根、壁、展示室の改修につい
て提案を受ける。

《総務企画課

《報告事項》

■第4回議会定例会提出議案

■比布町ふるさと永住功労表彰

■道北バスの支援

広域公共交通の最適化について
説明を受ける。

■ぴっぷ130年記念事業委員会

■比布町パートナーシップ宣誓制度

令和6年1月16日から施行。

■総合庁舎建設町民検討委員会

■比布町地域公共交通活性化協議会

■滋賀県湖南市友好交流事業

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇連携中枢都市形成に係る連携協
約の一部を変更する協約

◇令和5年度一般会計補正予算案

■物価高騰対応重点支援地方創生
臨時交付金にかかる実施事業案

総務常任委員会
1月29日開催

《協議事項》

《協議事項》

■第1回議会臨時会提出議案

産業建設常任委員会
12月6日開催

《協議事項》

《協議事項》

■農産物出荷・青果物販売実績

■担い手確保・経営強化支援事業

《協議事項》

■令和6年度農林課予算案骨子

《協議事項》

《協議事項》

■商工観光課関係事業経過報告

■令和5年度各施設の利用状況

◇良佳プラザ・遊湯ぴっぷ

①利用状況報告

②年度業務報告及び決算報告

◇グリーンパークぴっぷ

①施設利用状況

◇ぴっぷスキー場

①シーズン券販売状況

②イベント・行事計画

③会計年度任用職員採用状況

■地方創生臨時交付金事業

◇2023比布町生活応援商品券
給付事業

商品券利用率89・89%（11月16
日現在）

■ふるさと納税の状況

《協議事項》

■令和6年度予算編成

《協議事項》

《協議事項》

■建設工事の発注及び進捗状況

■令和5年度除雪計画案

■まちづくり懇談会での意見・要
望事項等

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇比布町簡易水道及び公共下水道事
業の設置等に関する条例の制定

◇空き地等の適正管理に関する条
例の一部を改正する条例

◇令和5年度一般会計補正予算案

《その他》

■市街地歩道の街路樹の撤去について



道北一の広大なゲレンデ
「ぴっぷスキー場」

《報告事項》

《報告事項》

■農地法及び基盤強化法による農
用地集積状況

産業建設常任委員会
1月29日開催

《協議事項》

《協議事項》

■第1回議会臨時会提出議案

全員協議会

【11月27日開催】

■簡易水道及び公共下水道事業にお
ける公営企業会計化の導入等について

【12月11日開催】

■物価高騰対応重点支援地方創生
臨時交付金にかかる実施事業案

【1月23日開催】

■物価高騰対応重点支援地方創生
臨時交付金について

■町立診療所入院病棟廃止及び次
期指定管理者の公募について

【1月29日開催】

■第13次まちづくり計画について

合同行政視察調査

比布町農業のさらなる発展に向けて

本町における子育て支援の充実とさらなる農業振興に向けて、令和5年11月6～7日に、石狩郡当別町のいちご農園「to berry farm」及び登別市の認定こども園「白菊幼稚園」など4か所を視察・調査しました。



【KUBOTA AGRI FRONT (クボタ アグリ フロント)】

北海道ボールパークFビレッジ内にある農業学習施設。農業経営のシミュレーションができる体験エリアやAI・自動化装置を活用した最先端の作物栽培を体感できる屋内栽培エリアなどを完備。

【北広島市の概要】

札幌市と新千歳空港の間に広がる広陵地帯にあり、北海道日本ハムファイターズの新球場やアウトレットモールなどの大型施設を構え、樹木や花々が四季を彩る自然と都市機能が調和したまち。

- ◆面積 119.05km²
- ◆人口 56,936人 (R5.11末現在)

初めに、北広島市にある農業学習施設「KUBOTA AGRI FRONT」を視察。ここでは、食と農業の魅力を楽しく美味しく学ぶことができず、生きていくには食べなくてはいけない。農業とは、生きていくうえで大事な仕事の一つです。農業人口の減少など環境問題やフードロス問題、食を取り巻く事情や農業の課題などを改めて認識しました。最先端の技術を用いて栽培している作物の生育状況を見ながら体験し、生産されたリーフレタスやトマトなどは併設するカフェでふるまわれています。持続可能な農業へ。農業者の未来を先進技術で解決していく様子を体験してきました。

次に、「びっぷいちご」をさらに発展させるために当別町道の駅に隣接するいちご農園「to berry farm」を視察しました。

想像よりはるかに大きく頑丈なビニールハウスは通常より多い

鉄骨によって雪に負けない仕様になっており、さらにその内部には幾種類かの電飾、配線やコントローラーが整頓された形で備わっていました。それらの設備が高額となってしまうためコストダウンをしてハウスを増設したいと話されました。

棚で作られているいちごには、すでにたくさん青いいちごが鈴なりになっていて、冬のいちご狩りに向け、着々と準備が進んでいました。これからは人手不足が課題であり、それらを設備で補うことが必要で、さらなる充実をと考えられているようです。

びっぷのいちご栽培が減少していく中、様々な設備の充実、そして栽培技術の発展が「びっぷいちご」復活に寄与することを願いたいと思います。

産業建設常任委員長 大熊 勝幸
副委員長 植西 浩一

【to berry farm (トウベリーファーム)】

当別町道の駅に隣接するいちご農園。親会社の栄養供給、調光、温度管理等設備を活用してハウスで栽培実験に取り組み、いちご狩りや道の駅での販売を行っている。

【当別町の概要】

札幌市と境界を接し、札幌都市部から約45分の近距離に位置。管内有数の米の生産量を誇り、また、切り花の生産が盛んで、道内屈指の生産額となっています。

- ◆面積 422.86km²
- ◆人口 15,316人 (R5.12.1現在)



認定こども園「白菊幼稚園」

昭和30年にお寺の本堂で季節保育園としてスタートし、平成29年に幼稚園型認定こども園へ移行。入園前のキッズ&プレー教室・満3歳保育・卒園後のアフタースクール・プログラミング教室と連続性のある一貫した教育保育体制が特徴。

認可定員 280名
利用定員 210名



「認定こども園」の 機能や特性を生かし 子育て支援の充実を図る

11月6〜7日の2日間、4年ぶりに総務・産業建設常任委員会の合同視察を行いました。
最初に登別市の認定こども園「白菊幼稚園」へ向かいました。学校法人登別立正学園代表の木村義恭氏から、法人の概要と平成29年4月に白菊幼稚園と白雪幼稚園が一緒になり「認定こども園」へ移行した経過を話していただき、質疑を行いました。木村代表に積極的に受け答えをしていただき、事前に送付していた視察内容の5点についてもわかりやすく話をしていただきました。



元気に体を動かす子どもたち

その後、園児たちが元気で保育をしている様子を見学しました。裸足で側転やブリッジ歩きをしたり、大きな声を出して遊ぶ姿に目を見張り、とにかく元気に表現する遊びに驚きました。本来の子どもたちの在り方だと感じました。体を作り、栄養を摂り、集団で育つ基本の保育をされていました。大きくなった時の子どもたちの未来が明るいように思いました。

【白菊幼稚園への質問】
①認定こども園への移行時期と登園数を教えてください
②自然を生かした保育などの保育方針を聞かせてください
③職員の配置人数は基準以上の配置ですか、不足していますか
④給食は独自で行っていますか、または小学校などと連携していますか
⑤幼児の園での排便について、親への持ち帰りですか、または園で処分をしていますか

認定こども園って？

教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。保護者が働いている・いないに関わらず利用可能であり、子育ての不安に対応した相談活動や親子の集いの場の提供などを実施しています。

(こども家庭庁HPより)



【登別市の概要】

支笏洞爺国立公園の中核に位置し、登別温泉を抱える北海道有数の観光都市。登別温泉の源泉の多くは約1万年前の火山活動により生じた地獄谷からの湧出であり、さらに、登別温泉周辺には、のぼりべつクマ牧場、登別伊達時代村などの観光資源も多くあります。

◆面積 212.21km²
◆人口 44,479人 (R5.11末現在)

子ども食堂「いちごはうす」

旧住宅を無償借受し、月に2回の子ども食堂を実施。

一市民が自ら運営を行い、NPO法人としては3か所の地域食堂を開設。

近隣の農・漁・畜産業から食材の提供を受け、団体、企業からの寄付やAmazon応援プログラムなどにも登録し運営している。



「子ども食堂」を通じて

地域のつながりを育む

次は、伊達市の「子ども食堂・いちごはうす」を訪問しました。あいにく子どもたちはいませんでしたが、お話しを聞くことができました。事前に伝えてあった4項目について回答をいただきました。いちごハウスについてはホームページがありますが、経営している方の生の話を聞きたいと思い視察しました。

【いちごはうすへの質問】

- ①子ども食堂の経営は苦労があると思いますが、食材の寄付を受けていますか
- ②家で食事を一緒にとる事の難しさと生活の貧困をどのように理解していますか
- ③住民、高齢者との交流はどのような形で行っていますか
- ④子ども食堂に来ている親子の生活背景も情報を得ていると思いますが、行政との連携はどのように行っていますか

懇談の中では、立ち上げた人への援助と同じ思いを持ち合う難しさ、行政との連携はないので、経営の経済的なもので日々苦勞されていることが伝わってきました。子どもたちや高齢者の方に、比布町でも支援の手が必要な方はいると思います。ここで学んだことを持ち帰り、できることを行動実践に移していければいいなと思いました。

総務常任委員長 遠藤 ハル子

毎週木曜日
おやつタイム 子ども無料

毎週第1・3木曜日
子ども食堂 大人500円、子ども無料

メニューはアレルギー対応やヴィーガンメニューの日もあります。



【伊達市の概要】

札幌市と函館市の間に位置し、登別市・洞爺湖町などと隣接。病院、大型ショッピングセンター、福祉施設など生活に必要な施設がまちなかに集約された「コンパクトシティ」で、道内でも雪が少なく四季を通じて気候が温暖なことから「北の湘南」と呼ばれています。

- ◆面積 444.2km²
- ◆人口 31,910人 (R5.11末現在)

上川管内町村議会議員研修会

住民に「開かれた議会」を 実現するために

早稲田大学地方議会研究会の中村健氏を講師として先進事例を紹介していただきました。

講師は27才で自治体首長を経験され、後に大学でマニフェスト研究所事務局長に就任されています。

テーマは「開かれた議会の事例」でした。毎年ランキング形式で発表される「開かれた議会」には、日本中の多くの自治体議会が参加し、ここ数年は北海道の自治体議会がトップを占めています。本来すべての会議や委員会を公開するのが原則ですが管内でライブ配信をしている自治体が三分の一であったり、デ



▲講師：中村 健 氏



ジタル化による住民との情報共有を図れない現状を考えるとランキング上位のハードルは高いようです。

比布町では特別委員会を設置してパソコンの使用や動画配信を考えています。

それらが早期に実現し、「開かれた議会コンテスト」で全国一位となった登別市議会や弟子屈町議会のように名を轟かせたいものです。

(植西 浩一)

市町村議会議員特別セミナー

常識にとらわれない戦略で 地域活性化を図る

令和5年11月1〜2日に、市町村アカデミー主催の市町村議会議員特別セミナーに参加してきました。

全国より50市町106名が参加され、①ハラスメント対策 ②自治経営 ③地域活性化 ④リーダーシップと内容の異なる4演題の第一人者である講師より講演をいただき、興味深く拝聴してきました。

特に、鳥塚 亮氏は外資系旅客機会社運行部長を退職し、公募の中から廃線寸前だった千葉県の「いすみ鉄道株式会社」の社長に就任しました。あえて古い列車を購入運行し、多くの地元市民を巻き込んで常識にとらわれない視点の違った発想と戦略でローカル線を再生し、地域の活性化と雇用、職員の育成などを行いました。

講演内容に多くの感銘を受け、人間的な魅力やスキルを含め、改めて周囲を動かせるエネルギーに「人材」は欠かせないと

再認識しました。

現在は、2019年より新潟上越に本社を置く第三セクター方式の鉄道事業者「えちごトキメキ鉄道」の社長となり再度再生に取り組み、地域活性化を図っています。

地域に貢献した内容に改めて人材の必要性を感じた研修になりました。

(佐藤 良彦)



上川・留萌管内女性議員研修会

立て！女性議員、集まろう女性議員研修会に

上川・留萌管内女性議員研修会は10月11日に上川町の浜田議員が主催してくれました。層雲峡観光総合コミュニケーションセンターにて研修会が開催され、総勢29名が集まりました。

研修会は①講演「大人の学び場くそのまんまフォルケホイスクーレについて」地域おこし協力隊 大城 美空 氏、②講演「健康維持のためのトレーニング」教育委員会社会体育係 係長 塚田 哲史 氏



の2氏に講演いただき、熱気あふれる研修になりました。

この女性議員研修会はすでに30年ほどの歴史があり、毎年開催地を変えて実施されています。旭川市以外の女性議員が集まり、その地の特徴を活かした研修会で、学びの多い研修となりました。行政の力も借りてですが、女性議員ならではの目線で取り上げてくれる研修内容に期待を込めて参加者が毎年30人ほど集まります。

女性議員がいる町、いない町、複数の町などとマスコミが「女性」を取り上げていますが、「なぜ長い議会制民主主義の日本で女性が男性の陰に隠れて生きなければならなかったのか」「議会は男性が優遇されているのか」「昔の時代からの家父長制度の中で女性への差別が生まれ、今も続いているのか」との思いから、議会で女性も活躍してほしいと思います。



まだまだ女性の地位向上は発展途上なので、女性自身が力を付け、自分の為にも少しずつ力を獲得していかなければ地位は築かれないと思います。その一歩に女性議員の活動の存在があると思います。女性議員研修会が継続されることを望んでいます。夜の懇親会には、上川町長、議長も参加してくれ、挨拶もいただきました。来年は占冠村で開催されます。

(えんじゅうはるこ 遠藤ハル子)

教えて！議会のぎもん

Q 委員会にはどのようなものがあるの？

A 委員会には各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の3種類があります。特別委員会は特定の問題や課題などを審査するために設置され、議会だよりの編集・発行を行う「議会広報特別委員会」もこの1つです。

Q 一般質問ってなに？

A 住民の代表である議員が町長などの執行機関に対して、政策提言や行政の課題など町政全般について質問をすることです。

年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会において質問をすることができます。

比布町議会の一般質問の制限時間は1人45分以内と決められています！



びっぶ議会だより 議会のうごき

11月

- 1日 市町村議会議員特別セミナー ～2日
(千葉県、佐藤(良)議員)
- 3日 比布町文化賞・文化奨励賞贈呈式
(福祉会館、各議員)
- 6日 総務・産業建設常任委員会、議会改革特別
委員会合同視察調査 ～7日
(登別市他、全議員)
- 13日 上川中央部市・町議会正副議長研修会
(上川町、議長)
- 18日 くるみ保育園おゆうぎ会(改善センター、議長)
- 20日 大雪浄化組合、愛別町外3町塵芥処理組合、
上川中部福祉事務組合議会定例会
(当麻町、組合議員)
- 27日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第5回議会臨時会 (役場、全議員)
全員協議会 (役場、全議員)
- 28日 上川町村議会議長会臨時総会・町村議会議
長全国大会・上川町村議会議長現地研修会
～12月2日(東京都他、議長)

12月

- 4日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 6日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 11日 全員協議会 (役場、全議員)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 13日 第4回議会定例会 (役場、全議員)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
議会広報特別委員会 (役場、委員)

1月

- 7日 比布町二十歳のつどい(改善センター、各議員)
- 8日 比布消防団出初式(コミュニティ消防センター、各議員)
- 16日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 22日 上川町村議会議長会役員会 (旭川市、議長)
- 23日 全員協議会 (役場、全議員)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 29日 総務・産業建設常任委員会(役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第1回議会臨時会 (役場、全議員)
全員協議会 (役場、全議員)
議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

編集後記



昨年は例年になく記録的な猛暑となり、水稲や農作物も高温により品質に影響が出るなど大変厳しい年となりました。そのような中でも、生産者の皆さんには日頃のご尽力に敬意を表しますとともに、今年は天候に恵まれる事を願いつつ、例年以上の出来秋を迎えられますことを期待したいと思えます。

さて、地方自治体の課題は多々ありますが、行政視察や企業等訪問をしてまちづくりの参考とすべく研修しております。町民の皆さんが将来安心して暮らしていけるよう、様々な視点で行政と議会が議論し、役割を努めていきたいと思えます。そのためにも多くのご意見をお寄せくださいますようご協力お願いします。

今年度も、昨年に引き続き「議会と話そう」を開催します。各地域の課題や要望などいろいろあるかと思えますが、今回もテーマに沿った内容で議論しますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

町の課題や今後について町民の皆さんと共に話し合い、明るく活気ある比布町を一緒に作っていきましょう。

(大熊 勝幸)
おおくま かつゆき